

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

April 2016

年4回発行(1, 4, 7, 10月)

山岸新委員長あいさつ

(公社)千葉県サッカー協会審判委員長 山岸 佐知子



今年度から千葉県サッカー協会審判委員長を務めることになりました山岸佐知子と申します。昨年末で現役審判活動に終止符を打ち、今年度から立場を変えて審判員の皆様をサポートする側にまわることになりました。

新しいステップを「ふるさと千葉県」からスタートさせていただけることを、光栄に思うと同時に、大変身の引き締まる思いでございます。今まで大石前委員長はじめ諸先輩方が整備されてきた皆様の活動環境を、より良いものにしていくことを目指し、サッカーに関わることで皆様の生活がさらに心豊かなものになるよう尽力していく所存でございます。

サッカーに審判員は欠かせない存在です。4種から1種、そして女子のサッカーに関わる審判員の皆様が、サッカーの発展を支えています。是非皆様の力をお借りし、千葉県のサッカーを益々盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2016年度永年功労表彰者のみなさま

~永年に亘りご尽力いただきありがとうございます!~

今後もご活躍を期待致します!! (敬称略)

《10年表彰者》茅野 祐一、大沼理人、村上勝則

《20年表彰者》岸 佳人、菊原 雅巳、実方 洋一、五十嵐 泰之、中平 昌則

《30年表彰者》沼尻 誠、田村 英治

5月14日(土)15時40分より千葉市生涯学習センター3階特別会議室で表彰式を行います。祝福のために参加をご希望の方は、当日会場にお集まり下さい。

目次

・山岸新委員長あいさつ (山岸委員長) ……1	・関東フットサル研修会参加レポート ……13
・2016年度永年功労表彰者のみなさま ……1	・地域レフェリーフィットネスインストラクターより ……14~15
・決勝審判インタビュー ……2~8	・新規取得講習会のお知らせ ……15
・各部よりご挨拶と2016年度事業計画 ……9~11	・推薦審査、昇級認定審査のお知らせ ……16~19
・女子初心者研修会の感想 ……11~12	・審判員、審判指導者に対する注意喚起 ……19
・2016年度レフェリースクール開催のお知らせ ……12	・(公財)日本サッカー協会からのお知らせ ……20

第38回 JAバンクカップ・千バテレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会

2015年12月13日(日)13:30キックオフ ~フクダ電子アリーナ~

JSC CHIBA 0(0-2,0-4)6 柏レイソルU-12

主審:桜井 大介氏、副審:鈴木 壘氏、愛宕 弘幸氏、第4の審判員:池田 浩康氏(文中敬称略)

両チームのひたむきなプレーと技術の高さに見入ってしまいました。そのプレーを支える審判の仕事に改めて責任の重さと誇りを感じました。フクダ電子アリーナで行われたこの試合の決勝審判団にインタビューを行いました。

Q 試合を終えての感想や試合前の想い等ありましたら教えてください。

桜井 : 4種の良さを引き出せるようなレフリングを心がけました。

鈴木 : 本格的なスタジアムでの経験があまりないので緊張しましたが、いつもどおりやろうと臨みました。

Q いつもどおりできましたか?

鈴木 : できました!

愛宕 : 初めて組む審判チームということと、こういう大きな大会も初めてだったので平常心でできるようにしました。準決勝での反省を改善することも意識しました。

池田 : 普段はフィールドの中の選手と近くで接するのが、ベンチの雰囲気やこれから出場する交代要員の『やってやるぞ!』という気持ちを感じ、違う視線でサッカーの楽しい部分に気がつくことが出来ました。

Q あまり4thをやる機会はないのですか?

池田 : そんなことはないですが4種独特の熱意のようなものを感じました。

Q 普段はどのような活動をされているのでしょうか?1級の桜井さん以外の方にお聞きします。

鈴木 : 高校の部活にも所属しながら、レフェリーハイスクールで4種の2ブロックを中心に活動しています。顧問の先生の理解を得て両立ができています。

愛宕 : 5ブロックのチームの副代表と、市と県の4種審判部員を務めています。チームの指導をしながら審判活動も行っている状況です。

池田 : 壘君と同じ2ブロックで4種のチームのコーチをしています。審判活動は県からの割り当ても受けていますので4種から1種まで担当させてもらっています。

Q 普段から4種から1種まで担当されて戸惑うことはないですか?

池田 : いつも戸惑っています。

一同 : 笑

池田 : ここ1カ月は4種のゲームが続いたのですが、間にプレミアリーグが1試合ありました。今までの経験から頭を切り替えることが大切だと考えて臨んでいます。

Q 池田さんは昨年の決勝戦の主審を、鈴木さんは準決勝の副審を担当されたそうですね?

池田 : 桜井さんのいない間に担当させて頂きました。そのときに色々頂いたアドバイスを今回の準決勝でチャレンジすることが出来ました。

鈴木 : 雰囲気はわかっていたので気持ちの準備はできていました。昨年指摘頂いた課題はこの1年間で修正できてきたので、それをきちんと行なうだけだと思っていました。





愛宕：私は先日行われた全小の決勝戦を担当させて頂きました。ですがこのスタジアムの雰囲気は良いですね。

Q こういった環境でサッカーができるのは、選手はもちろんのこと審判にとっても幸せなことですね。そうした中、運営の方のご厚意でタイムテーブルまで組んでチームの表彰と同じタイミングで審判員の表彰を行うことができました。

桜井：嬉しかったです。今後もそうしてもらえると励みになります。

Q 最後になりますが今後の抱負を聞かせて下さい。

桜井：引き続き決勝戦を担当できるように頑張ります。

鈴木：経験を積んで2級に昇級したいです。

愛宕：走れる60歳を目指してあと10年頑張ります。



(左から 桜井氏、鈴木氏、愛宕氏、池田氏)

池田：こういう場をまた担当できるように1年間頑張ることと、鈴木君や上田君らレフェリーハイスクールで一緒にやっている仲間がどんどん伸びていくようなお手伝いができるように頑張ります。でも簡単には抜かれません。

同じ審判仲間として、また千葉県のサッカーを支える仲間として誇りに思える審判チームでした。ありがとうございました。



準決勝の副審を担当された上田さん。来年は決勝戦を担当できるように頑張りますとのこと

第21回全日本フットサル選手権大会千葉県大会決勝

2015年12月23日(水・祝)14:45キックオフ ~館山運動公園体育館~

バルドルール浦安セグンド 4(2-1、1-2)3 順天堂大学 GAZIL/jfc

主審:藤崎 翔平氏、第2審判:木村 拓氏、第3審判:小川 和則氏、タイムキーパー:上岡 和生氏(文中敬称略)

Q 決勝審判お疲れ様でした。決勝のアポイントを受けたときの気持ちを教えてください。

上岡 : 沢山ゲームを今までやってきたのですが、決勝戦というのは県の中で1番トップレベルの動きを見たりすることのできる良いチャンスだなということで、幸せなことだなと思いました。

小川 : 決勝審判の一人にして頂いたことは、関係者のみなさんに感謝しています。

木村 : とても光栄なことでありますので、大変喜ばしく思います。

藤崎 : 特に今シーズン前半戦は仕事の関係で割当・審判活動をする事ができなかったのですが、審判活動を再開し始めた時期の10月位からしっかりできるようになってきたので、この1試合はとても大切な試合だなと思って、結構気持ちを入れて臨みました。



Q 普段割当を受ける際に、どのような準備をしておられますか?

上岡 : まず体力が落ちないように体はいつも維持しております。通勤時間にルールブックを見て、イメージトレーニングではないですけども、そういうことも習慣としております。

小川 : 体調管理にプラスして、「過去に指摘されたことを再び指摘されないように。」ということはいつも心がけています。それが、きちんとできているかというまた別の問題なんですけど・・・(苦笑)。

木村 : 選手権の決勝は、普段のリーグ戦の試合とは違い、レベルが高く、リーグ戦との戦い方が違いますので、選手の思いが高いことがこちらにも感じられて、それに見合ったようにこちらにも準備しました。良い習慣が身につくように普段の試合から真面目に取り組むようにしています。

藤崎 : 最近では自分の中で良い試合をするときには、どのような準備をしていたか、試合前とか直前でどう準備をしていたのかというのを特に頭の中にイメージするようにしています。例えば悪い試合の時にはどう準備をしていたから悪かったのかという風なことを意識してやること、あと前日は極力目が疲れなようなことをします。パソコン見なかったり、携帯もあまり見なかったりということを最近では心がけています。



Q 決勝に臨むにあたって特別に準備したことはございますか?

上岡 : 必要以上に持ち物の確認をしたり、十分な睡眠をとって、ベストコンディションで臨めるような体づくりをしておかなくてはならないと思いました今回は副審に専念させて頂いたのですが、改めてルールブックを見ながら任務であったり、こういうことに気を付けないといけないな、ということを確認して、今回取り組んだのですが、やはり課題は多かったと思います。

小川 : 今まで、第3審判をやっていて自分が困ったということが再度起きないように一番気を遣いました。そのために体調を整えたり、ルールブックを読みかえしたりしました。また、今回11/3の準々決勝があつて、それから1か月以上間があつて準決勝、決勝と行われたので、頭の中ではかなりシミュレーションはしました。

木村 : 小川さんがおっしゃっていたのですが、予選から今日まで少し日が空いたので、例えばその前の試合で、こちらがミスをしてしまったということの反省だけで臨むことが多いのですが、今回はこころの準備を含めて色々準備をすることができましたので、決勝に向かうにつれてモチベーションを高めることができたかなと思います。

藤崎：この試合のためにまず一番最初に心掛けたことは残業せずに定時に帰りました。いつもよりゆっくりお風呂に入って、いつもより早めに睡眠をとりました。

Q フットサルの魅力を教えてください。

小川：見るスポーツとして、「迫力あるプレーを天気を気にせずに、サッカーよりも身近に見れること」。

木村：スピーディーな展開と沢山のゴールシーンが魅力です。そして審判の視点から言いますと、最近少しずつ気づいてきたことは、空間把握といいますか、その会場全体のすみずみまで審判がチェックしなければならず、その中で同時に事象が生じた場合には、そのすべてを把握していないと対処できないという難しさもあり、おそらくサッカーよりも接触や何か色々なことが起こる、同時に生じるということが多いような気がします。それをしっかりと把握することは難しいのですが、できたときは面白いと感じます。



藤崎：1対1の局面とか、そういう駆け引きが多いところです。プレースピードもそうなのですが、駆け引きが多いところが魅力です。サッカーの審判は殆どできていないのですが、フットサルの審判は展開がスピーディーなのでよりプレーの予測をすとか、アジリティーがすごい必要なのかなと感じており、僕の中でそういうところが鍛えられてきているので面白く感じています。たまにサッカーの審判をすると、サッカーの方がプレーがゆったりしているところが多いので、良く見えたりしますね。

上岡：そうですね。昔はサッカーをやっていたのですが、あるきっかけがあり、フットサルを始めました。審判は誰でも笛を吹ける、そういう意味ではサッカーとは違う魅力があるのではないのかなという風にはまずは感じました。

Q あるきっかけでフットサルに転向したという、そのきっかけを教えてください。

上岡：私が毎年東京都で大会をやっておりますフットサルの国際試合なのですが、その試合の審判長をやらされておまして、「なんだお前、フットサル知らないのかよ。」ということでは困りますので、まず資格を取って、それからフットサルに取り組み始めたのですが、病みつぎになってしまいました。



Q それは今でも続いているのですか？

上岡：今も続いています。24、25年に続いております。最初の頃は、バルドラール浦安が「PREDATOR」という名前で参加して下さっておりました。それが一つのきっかけになって、フットサルに力を入れるようになりました。

Q 今後の目標があれば、お聞かせ下さい。

上岡：一番希望したいのは、沢山試合の審判ができるように、取り組みたいなあと思います。そのためにはとにかく年齢的にも体調管理というのはすごく大事になってくると思います。直前になって、体の調子が悪いから休みますでは、どうしようもないですよ。(一同:笑)

小川：普段から、主にフットサルとサッカーの両方の審判をさせて頂いています。その時々目の前の試合を、フットサルとサッカーに関わる様々な人たちと一緒に楽しむことができればいいですね。

木村：私事ですが、2級受験です。取得ではなく、受験です。

藤崎：今日も試合を担当して、満足のいかないレフェリングでしたので、満足のいくレフェリングをするためにはどうするのかというのをつきつめていきます。機会があれば1級を受験して、近いうちに櫻田さんと一番高い舞台上で審判をやりたいと思います。そのためには一生懸命努力しようと思います。





Q みなさんはサッカーの審判資格は持っておられますか？

上岡：サッカー審判資格は持っていません。
 小川：サッカー3級審判資格を持っています。
 木村：サッカー審判資格は持っていません。
 藤崎：サッカー3級審判資格を持っています。

Q フットサルの公式戦を初めてみたのですが、手のファウルに関して、フットサルの方が寛容だと思ったのですが、普段サッカーをやっていたらしゃる方にとって、基準だったり、何か意識したりしているようなものはありますか？



(左から 小川氏、木村氏、藤崎氏、上岡氏)

小川：どちらかという自分は甘目にみえてしまうようです。ただサッカーだからきびしくしようとかフットサルだから甘くしようというのはなくて、ただ結果的に私の場合は、そうなってしまうところがあるようです。

藤崎：サッカーはサッカーで切り替えてやっていますね。フットサルの基準でやってうまくいくことがなかなかないので、同じフットボールはフットボールですけど、サッカーはサッカーなりものがありますので。

お疲れのところ、ありがとうございました。これからも頑張ってください。

千葉県第1種サッカー選手権大会 決勝

2016年3月13日(日) 13:00キックオフ ~ゼットエーオリプリスタジアム~

VONDS市原FC 2(0-0、2-0)0 国際武道大学学友会サッカー部

主審:五十嵐泰之氏、副審:桜井大介氏、村上 匡氏、第4の審判員:鈴木悠介氏 (以下敬称略)

3月とは思えない気温の中、寒さを吹き飛ばすように元気に皆さん走っておりました。タイトルのかかった試合は社会人と大学生の対戦となり、前半は両チームとも0-0。後半になり、お兄さんの貫禄? VONDS市原FCが2点を入れ見事、千葉県1種チームの頂点に立ちました。

そんな試合を終えたレフェリーチームの控室にお邪魔し、お話を伺ってきました!

Q 試合を終えて、今の気分はいかがですか？

五十嵐：負けたチームも勝敗を受け入れてくれていたと思うので、目標は達成できたと思います。

桜井：頑張りました。

村上：無事に終えてよかったです。



Q 試合ではレフェリーも結構走ると思いますが、今日の試合ではどれくらい走ったのでしょうか？

五十嵐：11.4kmくらいでした。もう少し走ったかと思いましたが、まだまだですね。

桜井：7.4kmくらい。結構走りました。

鈴木：ウォーミングアップの時に走ったくらいです。

Q 気心の知れた仲間と組んでやりやすいところ、逆にやりづらいところがありますか？

五十嵐：やりやすいところは自分のことを理解してくれていること。
やりづらいところは、ありません。

桜井：やりやすいところは言いたいことが言える。やりづらいところはまったくありません。

村上：何をしてほしいとか、行きたいと思っているのかがわかることはやりやすいです。

Q 今日の試合のターニングポイントはどこだったと思いますか？

五十嵐：ターニングポイントは得点のシーン。1点目かな。やっぱり点が入って温度が変わりました。

村上：同じく1点目。縦パスが出たらオフサイドだと思っていたらシュートだった。

桜井：選手とのコミュニケーションの場面。



Q 今日の試合を一言でいうなら？

五十嵐：楽な試合ではありませんでした。とても気を遣いました。

桜井：1種の頂点を決める戦い…その通りの展開になったと思います。

村上：一言では言えません。

Q 主審を行うときと副審を行うときで気を付けていることや違いはありますか？

五十嵐：副審の時は、主審をサポートするってところがメイン。主審はみんながサポートしやすい環境を考える。この試合をどうするかは目標設定は主審の仕事ですが、それを理解して、副審・4thが力を発揮しやすい環境を作ることも重要だと思います。

桜井：主審と副審では事象を見る角度と事象の見え方が違うので、思い込みを持ち過ぎずに気をつけています。

村上：お互い任務が違うから、どちらも与えられた任務を忠実にやること。

Q 正確なオフサイド判定やファウルの判定などをするうえで参考にできることがあれば。

五十嵐：やっぱりポジションにこだわりたい。1番がポジション。2番が選手の向かい方。プレーヤーの意図をすることも重要だと思います。

桜井：事象をイメージしたイメージレーニング。ひたすらトレーニングです。

村上：きちんと見極めること。オフサイドはラインキープと出所。ファウルの判定はディフェンスを見て、あっ！やったとか、やってないとか、前後のプレーを考えれば見方が変わるかも。



(左から 桜井氏、五十嵐氏、鈴木氏、村上氏)

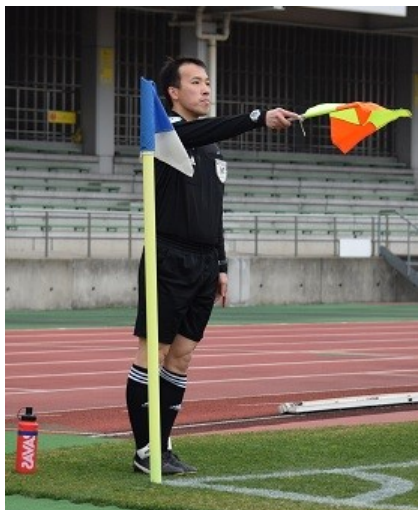
Q しんどいなって思う時、やっ
ていてよかったと思う時、レ
フェリーを続けている魅力が
あれば教えてください。

五十嵐：しんどいのはトレーニング。やっていてよかったことはありがとうって言われる時。他に目の前で良いプレーが見られた時。それはみんな一緒だと思います。続けている理由は、まだ「やりきった!」と思っていないからだだと思います。やりきれて、完璧ならやめてしまうかもしれませんが、そんな日はこないじゃないかと思っています。

桜井：しんどいことは日々のトレーニング。やっていてよかったことは色々なところに行けること。魅力はサッカーに携わることができること。

村上：日々のトレーニングに時間を確保することがしんどい。サッカーに関わっていられることが続けている魅力です。

鈴木：色々な人と出会うことができるところが魅力です。



Q 次の日に疲労を残さないためにやっていることは?

五十嵐：試合後のストレッチは大事です。

桜井：十分な睡眠を取ること。

村上：一緒だけど寝ること。試合の日はいつの間にか勝手に寝ています。

Q 悩んでいる人にアドバイスはありますか?

五十嵐：みんなで共有しましょう。みんな仲間だから、色々な人に話しかけて解決の糸口をつかみましょう。それも審判の魅力だと思います。

桜井：試合の中で、常に“これ以上やりきれない”というくらいやりきってください。

村上：やり続けるだけじゃないですか? 一生懸命やること。

Q 千葉県レフェリー界ってどんなところですか?

五十嵐：意外と楽しい仲間が多いです。

桜井：和気あいあい。

村上：こんな感じです(笑)

鈴木：楽しいところです。

千葉県レフェリーチームの仲のよさが伝わるインタビューとなりました。このインタビューの後、皆さんフィットネステストに取り組み基準をパスしておりました。日々のトレーニングがしんどいと言っていたいますが、それでもトレーニングなしに正しい判定は成り立たないことを知っているからしんどくても行うのでしょうか。新しいシーズンが始まります。皆さん、一人で抱え込まずに語り合しましょう!そして楽しみましょう!



試合後のご協力ありがとうございました!!

☆各部よりご挨拶☆～今年度もよろしく申し上げます～

《インストラクター部》

インストラクター部では、毎年度関東の強化審判員や県内主要大会の準決勝・決勝戦及び社会人、大学等のリーグ戦などへのアセッサー派遣に重点的に取り組んできています。今年度も、より多くの試合にアセッサーを派遣し、そして、試合会場での指導を充実させ、審判員のレベルアップを図りたいと考えています。

その審判員のレベルアップを図る上でも重要なのが、アセッサーも含めたインストラクターの指導技術の向上です。そのためにも、年3回の研修会や個別の指導を通じて、インストラクターの指導力の向上を図っていきたいと考えています。審判員の皆さん、そしてインストラクターの皆さん今年度もよろしくお願ひいたします。

《強化部》

はじめに

昨年度は、皆さまのご協力によって無事にシーズンを終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。新シーズンも強豪 千葉県において、選手・役員から信頼されるレフェリングを実践いただけるようお願い申し上げます。

今年度の重点項目

今年度、審判委員会では『2級審判員の強化』を大きなテーマに取り上げております。2級審判は、実務者として県下の試合を運営面で直接的に支えるとともに各市町村においては上級審判としてリーダー的役割を担う重要な位置付けにあります。国体以降手薄になっていた2級審判員への研修を拡充することで、試合の安定的運営と審判全体のレベルアップに繋がりたいと考えております。

行事予定(強化部主催)

強化部では、前述のテーマを受けて2級審判員を中心に以下の事業を実施致します。

対象者へは、KICKOFFシステムにてご案内致しますので、連絡先の登録を宜しくお願い致します。

- ① 3月 シーズン前研修会
- ② 5月 リーグ担当研修会
- ③ 7月 観戦研修会(県選手権)
- ④ 8月 競技規則研修会
- ⑤ 9月 実技研修会(県民大会)
- ⑥ 10月 強化宿泊研修会(高校選手権)
- ⑦ 11月 リーグ担当研修会(関東トレセン)
- ⑧ 12月 実技研修会(県選手権)
- ⑨ 2月 シーズン前トレーニング研修



昨年10月のカテゴリー研修会の模様

昨年からの変更点

- ・対象者の明確化
- ・カテゴリー審判員研修会の休止

関東強化審判員

先日、今年度上期の関東強化審判員が決定したので、以下の通りお知らせ致します(敬称略)。

今年度は千葉県から1級にチャレンジする審判員が2名いるので、審判員会で一丸となって確りサポートしていきたいと考えております。

1級候補(2名)	石原美彦、松田卓磨
強化審判員(2名)	竹中健太、中島智広
都県推薦審判員(5名)	鈴木悠介、柳澤健太、小倉敬右、平野裕大、水間健太

おわりに

最後になりましたが、今年度も皆さまが健康でケガ無く審判活動に励んでいただき、昨年以上にご活躍されることを心より願っております。また、県内の審判の強化等に関わる事案について、ご意見・ご要望がございましたら堀川(e.horikawa@jcom.home.ne.jp)までお寄せ下さい。

《女子部》

初心者研修会

2015年12月13日(土)習志野市茜浜グラウンドにおいて、習志野市サッカー協会4種委員会のご協力により、習志野朝日旗3年生大会で実技研修会を行いました。毎年参加者の多いこの研修会では、数人の研修生グループに1名のインストラクターに付いていただきます。試合中はもちろん、試合のない時間にも一緒に行動していただくことによって、様々な事を教えていただきます。他の方の試合を見ながらの観戦研修をするグループや、旗の振り方、競技規則の確認など、インストラクターが研修生に合わせて内容を考えてくださいます。初心者でも不安なく参加できる研修です。

強化研修会

2016年2月20日(土)21日(日)の二日間、船橋法典公園グラスポを会場に、市船招待試合(U-14)で強化研修会を行いました。中学生男子のトレセン交流試合ということで、大変中身の濃い研修を行うことができました。県内女子各試合の割り当てを受けている2級から4級の女子審判員の研修でしたが、研修生の試合をビデオに録り、その日のうちにビデオを見ながらの座学も行いました。それぞれの事象に対するの判定やその解釈について、インストラクターにご指導いただきながら皆で考えました。また、20日の研修会には、山岸佐知子さんがインストラクターとして参加してくださいました。それぞれにスキルアップを図ることができた研修会でした。

2つの研修会にご協力いただきました、習志野市サッカー協会、市立船橋高校、各チームの皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

☆2016年度各部の事業計画☆

《普及部》

■ サッカー4級審判員認定講習会

2016年4月10日(日)・5月15日(日)・6月19日(日)千葉県スポーツ科学センター

2016年7月17日(日)・7月31日(日)千葉県総合スポーツセンター 宿泊研修所

■ サッカー2級審判員昇級推薦審査及びサッカー3級審判員昇級審査

2016年5月5日(木・祝)・10月10日(月・祝)野田市総合公園 体育館・陸上競技場

■ サッカー4級審判員更新講習会

2016年12月11日(日)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー3級審判員更新講習会

2016年12月11日(日)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー2級審判員更新講習会

2016年12月11日(日)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー4級審判員認定講習会

2017年1月15日(日)・2月5日(日)・2月26日(日)・3月12日(日)・3月20日(月・祝)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー4級審判員更新講習会

2017年2月26日(日)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー3級審判員更新講習会

2017年2月26日(日)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー2級審判員更新講習会

2017年2月5日(日)千葉県スポーツ科学センター

■ サッカー3級・4級審判員更新観戦研修講習会

2017年2月予定(都合により中止になる場合があります。)

《インストラクター部》

■ アセッサー派遣の充実(年間)

■ 新規取得・実技・講義講習会等へのインストラクター派遣(年間)

■ 研修会等によるインストラクターの指導力の向上(研修会3回他)

《女子部》

■ 強化研修会 8月(香取市)、2月(船橋市)

■ 初心者研修会 10月または11月(習志野市)

その他、昇級審査前の勉強会や、割り当てされた試合会場でのミニ研修など、女子審判のニーズに合わせた研修を予定しています。



《フットサル&ビーチサッカー部》

■ カテゴリー審判員研修会

2016年4月29日(金・祝)14:00~16:00 会場:調整中

■ 帯同審判員対象フォローアップ研修会

2016年4月10日(日)時間:9:00~12:00 会場:大網白里アリーナ

2016年7月 開催予定

■ F2昇級予備試験、F3昇級試験

2016年5月5日(木・祝)9:00~13:00 会場:野田市陸上競技場



女子初心者研修会の感想

2015年12月13日(土)習志野市茜浜グラウンドにおいて、習志野朝日旗3年生大会で実技研修会を行いました。参加者の感想を紹介します。

本日は講習会を開催していただき、ありがとうございました。まだまだ自信がなくしっかりとした判定ができず、一生懸命プレーしている子供たちに申し訳なく思いましたが、よくないところを自覚でき、次へつなげようと思えます。資格を取得してからなかなか活動もできていなかったのですが、今日一緒に審判をしたみなさんの頑張りとお実力を見て、自分の言い訳をしているだけだと反省しました。また、中学生の子もしっかりと審判を行っていて、元気をもらいました。1年後の講習には、今日のインストラクターの方々にご指導いただいたことができるようになっていくように頑張ります。本日は本当にありがとうございました。(結城三世子)

女性審判員の講習会は昨年に続き2回目の参加になります。自チームでは主に6年生を担当していますが、3年生の試合の流れがつかめず、主審の動きに苦戦しました。「ボールだけを見るのではなく、全体を見て動くこと。」改めて痛感させられました。副審をさせていただいて、オフサイドをキープすることに集中しすぎて、肝心のプレーについていけず、反省しています。一瞬のスキが得点に結びついてしまうので、集中して試合の臨みたいと思いました。今日は貴重な時間をありがとうございました。(澤井朋子)

今日は参加させていただきありがとうございました。同じ女性審判として活動している方との交流や、普段なかなかご指導いただけない方からのアドバイスなど、とても良い経験になりました。ただ、副審の時、後ろでコーチングをしていただいたり、ベテランの審判の方の後ろで動きを見たりする機会が、皆さん均等にあればよかったと思いました。主審に関しては、4thを大勢立てるのではなく、観戦しながら解説していただきたかったと思いました。なかなかトレーニングに参加できる機会がありませんが、参加できる時には積極的に参加していきたいと思いました。(二宮飛鳥)



今回の研修で、主審を2回させていただきました。今までの主審経験は、チームの練習試合で1回、昨年の講習会で1回だけだったので、とても勉強になりました。笛の拭き方からアイコンタクト、ジャッジの仕方など、思い切ってやってみることで気づけることがたくさんありました。参加してとてもよかったです。ありがとうございました。

(河内由美)

ルールもあまり知らず、どちらのボールかも判定のできない状態で講習に来てしまいました。副審の後ろで、サイドステップしてオフサイドの判定について学びましたが、難しかったです。「広い視野で見ると」と言われても、オフサイドを気にしていたら、タッチラインをどちらが出したのか見落としてしまったりして、本当に大変な仕事だと思

いました。でも、楽しかったです。今回は副審しかできませんでしたが、息子のサッカーチームで笛の吹き方と審判を練習して、来年の講習会では副審も主審もできるようにしたいと思います。何も知らなかった私ですが、親切丁寧に教えていただきありがとうございました。（上野敦子）

今日は審判をさせていただいて、今まで気が付かなかったことに気が付くことができました。それは、ただフラッグを振るだけではなく、主審とのアイコンタクトをとり、主審が確認したうえで初めてフラッグを下げるができるということです。また、インストラクターの方が後ろについて自分の間違っただけを指摘してくださったので、1試合目より2試合目の方が自信を持ってジャッジできました。以前は、ゴールラインを割った後のシグナルを出すのが、コーナーまで走り切ることができませんでしたが、今回の講習を受けたおかげで直すことができました。今日得た知識をチームに持ち帰って、みんなに教えてあげられるようにしたいです。今日はありがとうございました。（佐藤愛未花）



最初は少し不安でしたが、インストラクターの方々のおかげで、気持ちよくジャッジすることができました。わかりやすく教えていただいたので、今後副審をやるうえでとても役に立つと思いました。今日の講習で、「ゴールがされたときにはゴールラインまで走らなければいけない。」という課題が見つかりました。それは、「きちんと見ました。」「真横で確認しました。」という誰からも信頼されるジャッジをするためだと思いました。今日やったことがこれからは生かしていけるように頑張ります。ありがとうございました。（園部紗希）

4th審では、主審や副審の動きがよくわかりました。タッチラインを割ったときに見逃しがあったので、自分が副審の時には気を付けようと思いました。副審をやったときは、オフサイドを見逃してしまったり、走っているときにタッチラインから離れていってしまったり失敗がありました。他の方の主審を見たときには、主審がさす方向や副審の動き方などを学ぶことができました。今日は難しかったこともありましたが、皆さんが支えてくれたおかげでやり切ることができました。もっと上手になりたいと思いました。（松尾美月）

私は副審しかやったことがなく、主審をやるのが初めてでした。試合前に、今まで知らなかったルールなどを教えていただいて、とてもためになりました。主審は思ったよりも難しく、オフサイドを取るのが遅れてしまったり、ステップが悪かったり、近くで見られなかったりしてしまったので、今後主審をやる機会があれば、今回できなかったことに注意してもっとうまくできるようにしたいです。

自分ではわからないようなことを指摘していただき、自分の足りないところがよくわかりました。副審には少し自信があったのですが、もっと自信が持てるように、サイドステップを使ったり、タッチアウトの判断を正確にしたり、主審とのアイコンタクトをとったり、オフサイドを更に意識したりして、取り組みたいと思いました。いつもは聞けないような疑問も聞くことができ、とてもたくさんのお話を学びました。今後の実践に生かしていけるよう頑張りたいです。（村田かのん）

2016年度（公募）レフェリースクール開催のお知らせ

審判活動に本気で取り組みたい、県内公式戦の審判割当を受けたい、上級審判の資格にチャレンジしたい、更に上達したい等、向上心のある3級審判員を対象に【レフェリースクール】を開催いたします。

年間全4回の開催を通じて、実技研修および競技規則の勉強会を実施します。全回数に参加できなくても構いません。向上心の火を消さない方であれば、大歓迎です。

■ 2016年度 第1回（日帰り）・・・2016年6月頃（会場未定）

■ 応募資格・・・年齢：不問（ユース・シニアも可）、資格：サッカー審判員3級取得者

（競技部からの審判割当を受けている、または今後定期的に受諾できること）

（当該年度または翌年度に、2級昇級審査を受験できること）

■ 申込お問合せ先・・・育成部・右田智也（みぎたとしや） t.migita@ab.auone-net.jp 090-3691-4134

■ 備考

※受講料（一般：¥1,500 ユース：¥500）を当日ご持参下さい。レフェリースクールでの更新はできません。

※各研修会場への交通費および昼食は各自でご負担ください。実技を受講の際は、審判服等審判用具一式を各自でご用意ください。その他不明な点は、育成部・右田までお問い合わせください。

2015年度第3回関東フットサル審判研修会 参加レポート

報告者 藤崎 翔平

- 日時：2016年1月30日、31日 会場：駒沢体育館およびパールホテル溝ノ口
研修会は9時から行われたが、仕事の都合で15時から参加。今回は第21回全日本フットサル選手権関東大会を利用した研修会でした。

■ スケジュール

1月30日

15:00 第3試合観戦 ⇒ 17:00 第4試合観戦 ⇒ 19:00 移動開始 ⇒ 19:30 パールホテル溝ノ口到着 ⇒ 20:00 研修会 講師 宮崎部長 ⇒ 21:00 競技規則テスト（競技規則テスト終了後、翌日の割当発表）

1月31日

7:00 朝食 ⇒ 8:30 移動開始 ⇒ 10:00 第1試合観戦 ⇒ 12:00 第2試合割当 ⇒ 16:00 決勝戦観戦 ⇒ 18:00 3位決定戦割当

- 研修会の内容…この研修会に参加する審判員の心構えや1日目の試合の反省(担当者から)

■ 準決勝第2試合・・・リガレ東京-コロナFC権田 3-3(2PK3)

主審:藤崎 翔平 第2審判:佐藤俊介氏(埼玉県) 第3審判:葛谷進一郎氏(神奈川県)
タイムキーパー:石岡マルシオ氏(神奈川県) 審判アセッサー:保坂氏

自己反省

佐藤氏とは初めて組むので、基本的なことを打ち合わせて確認し試合前に意思統一を行った。そのおかげでお互いの弱点をフォローし合って良いコントロールができたと思う。判定基準については、序盤で相手競技者を手で押さえる行為についてファウルとしないことがいくつかあったが、前半のタイムアウト後に修正してほぼ一貫した判定基準が示された。また、試合中に出た2枚の警告については妥当であったが、後半に相手競技者が後ろからスライディングタックルした行為については警告をすべき事象だったとアセッサーからの指摘があった。また、アセッサーからよく走っていたと言われたが、個人的には体力は問題なかったがスプリントが効かなかったので、普段のトレーニングでスプリントを鍛えるトレーニングを取り入れたいと思った。

■ 3位決定戦・・・ペスカドーラ町田アスピランチーリガレ東京 1-3

主審:住岡弘士氏(東京都) 第2審判:葛谷進一郎氏 第3審判:藤崎 翔平
タイムキーパー:佐藤俊介氏 審判アセッサー:保坂氏

自己反省

普段はFリーグ等で第3審判を行うときは必要以上に立たないようにしてコントロールをするが、今回は勝敗によって全国大会に進出するかどうかの試合で、何が起るか分からなかったなので、いつもより視野を広げて主審と第2審判がピッチ内に集中できるように取り組んだ。序盤に毅然としてベンチコントロールを行ったので、そこからは両ベンチとも協力的に対応してくれた。また、負傷者の対応や主審と第2審判の判定が食い違ったときにもきちんとフォローができた。個人的にはよくできたと思うので、この対応をどのカテゴリーの試合でもできるように心がけたいと思った。

感想

今シーズンは、仕事の関係で前半戦は全く審判活動ができず、お世話になっている方々に迷惑ばかりかけてしまい、審判活動をやめようとしていた時期もあった。後半戦からは仕事も少しずつ落ち着いて、審判活動もでき審判ができるありがたみやモチベーションも上がり、自分自身の審判活動について見つめなおすことができた。振り出しに戻ったつもりで今回の研修会にのぞんだが、良い意味で試合に生かされたと思う。今年度の審判活動は終了したが、次年度はできる限り仕事の都合をつけて空いた時間に審判活動ができるようにしていきたい。また、今回は30日の夜のみの参加だったが、翌日の割り当てをしてもらった宮崎部長や、前日に対応して頂いた五十川部長含め関係者の方々に深く感謝申し上げます。

地域レフェリーフィットネスインストラクターより

JFA地域レフェリーフィットネスインストラクターの牛尾眞一郎です。2011年からインターバル走等のフィットネステストの正確な運営、評価、地域審判員に対するフィットネス指導などのために、全国の各地域に構築されてきた体制。現在は、2015/2016研修の第3期生となり、北海道から九州まで合わせて27名います。

さて、試合中にレフェリーが走る距離は、90分ゲームで主審が11km前後、副審は6km前後くらいです。お子さんのチームの帯同審判、大会等の割当の試合数を考えると、体力の維持向上、リカバリー、栄養補給など考えなければならないこと、取り組んでみたいことは山ほどあると思います。本やネットにもたくさんの情報はありますが、せっかく身近にこんな存在がいるので、みなさんに是非知ってもらいたいですし、是非私を使ってもらいたいです。自分自身も常に学び続け、みなさんにタイムリーな情報をお伝え、実践していただけるようにしていきたいです。よろしくお願いたします。



■ 今回はウォーミングアップ！

【ウォーミングアップの目的】

アクティベート(活性化)

筋肉への刺激、代謝をよくさせて、全身の体温を上げ、柔軟性を出す。

怪我の予防、筋肉の粘性や弾性を変えるなどです。

試合前、トレーニング前など限られた時間で行うために、効率的に且つレフェリング的に行っていききたいですね。そこで、今回は、レフェリー用のウォーミングアップのご紹介です。①から⑤の順に自分に合わせてやってみてください。身体が軽く感じますよ。

① 筋膜リリース(グラウンドでの待ち時間や控え室でも)

point→テニスボールやフォームローラーを使って、筋肉(筋と筋膜)に対して、マッサージのように圧をかけて筋膜を緩める方法です。

【筋膜リリースの効果】

- ・リンパの流れや血流量の向上
- ・関節可動域の向上
- ・姿勢を整える
- ・身体動作等、パフォーマンスの向上
- ・トレーニング効果の向上
- ・リカバリー

② jog

point→正しい姿勢で！頭を上につけながら、全体的に胸郭が上がる感じでリラックス。

③ アクティベートエクササイズ

point→筋肉に対して、我慢させると、血液がめぐり、筋温が上がる



片足を前に出して踏み込み5回タッチ(前腿、お尻部分の活性化)



片足立ちからすねを両手で5回タッチ！(お尻部分の活性化)



この姿勢で30秒程度(女子は10秒程度)キープ！

④ ダイナミックストレッチ

point→ブラジル体操などにあたるものがこれ！関節などの動き(モビリティ)を高める！

⑤ 加速走

point→リラックスして、良い姿勢で！周りがよく見えるように！

ウォーミングアップを行う際に頭に入れておきたいこと！

【環境】 季節(気温・湿度)、室内外

【種目の順番】 筋膜リリース⇒ジョグ⇒アクティベートエクササイズ⇒ダイナミックストレッチ⇒加速走

【服装】 季節に応じた服装(試合時の服装をイメージして)

【シューズ】 フィールドに対応したシューズ調整

【強度】 時間<30分間、%HR(心拍数割合)<スプリント強度

【時間】 気温(湿度)に応じて調整 インターバル(休憩)および水分補給

学んできたこととして、ウォーミングアップ、クールダウン、トレーニング方法、走り方、リカバリー方法、栄養などいろいろ情報提供してきたいと思います。ご質問、勉強したいことありましたらどんどんご連絡ください。

牛尾真一郎 ushishi2010@ybb.ne.jp

《2016年度サッカー4級審判新規取得講習会のお知らせ》

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICKOFF』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
4月10日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160 名	有り	一般:¥7,020 ユース:¥1,000
5月15日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160 名	有り	一般:¥7,020 ユース:¥1,000
6月19日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	160 名	有り	一般:¥7,020 ユース:¥1,000
7月17日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県総合スポーツ センター宿泊研 修所(大ホール)	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩7分	160 名	有り	一般:¥7,020 ユース:¥1,000
7月31日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩7分	160 名	有り	一般:¥7,020 ユース:¥1,000

《2016年度フットサル4級審判新規取得講習会のお知らせ》

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『KICKOFF』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
4月3日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	50名	有り	一般¥8,020 ユース¥2,000
7月3日 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター	千葉都市モルレル 「スポーツセンター駅」 徒歩10分	30名	有り	一般¥8,020 ユース¥2,000

《2016年度 第1回 サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は平成28年10月に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)

2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー3級審判員として30試合以上の審判を行っていること。
 - a. 30試合のうち、公式戦(千葉県主催以上)・主審実績(15試合以上)
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー2級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
注意：顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や(一社)関東サッカー協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

● 第1次審査；書類審査

- ① 審判実績確認：REFEREES' DIARY審判記録用紙のコピー(30試合以上)及び実績記載用紙の提出による。【公式戦(千葉県主催以上)・主審実績(15試合以上)】
※審判委員会ホームページの推薦審査(S2)実績記載用紙を使用して提出
- ② 昇級認定審査参加申込書による。
※審判委員会ホームページの推薦審査(S2)申込書を使用して提出

● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

- ・ 2016年5月5日(木・祝)野田市総合公園 陸上競技場
- ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
- ・ 体力試験
40m走(6.9秒以内)×6回
150m(40秒以内)+50m(50秒以内)インターバル走、16回連続で走ること
- ・ 講義「2次審査当日合否発表後」
合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する

● 第3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施

- ・ 2試合以上実施する。
2試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

※ 申込受付期間 平成28年3月16日(水)～4月15日(金)迄
1次審査郵送 平成28年4月20日(水)必着



《2016年度 第1回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2016年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー4級審判員として10試合以上の審判を行っていること。
 - a. 10試合のうち、8試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー3級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
注意：顕著なサッカー歴については(公社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

● 第1次審査；書類審査

- ① 審判実績確認：REFEREES' DIARY審判記録用紙のコピー提出による。
- ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(S3)申込書を使用して提出

● 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施

- ・ 2016年5月5日(木・祝)野田市総合公園 体育館・陸上競技場
- ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
- ・ 体力試験
150m(50秒以内)+50m(60秒以内)インターバル走、12回連続で走ること
- ・ 講義(2次審査当日合否発表後)
合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する

※ 申込受付期間 平成28年3月16日(水)～4月15日(金)迄
1次審査郵送 平成28年4月20日(水)必着



《2016年度 第1回 フットサル2級審判員推薦審査のお知らせ》

(この推薦予備試験は平成28年10月(予定)に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)
フットサル2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績を有していること
 - ① フットサル3級審判員として、資格取得後1年以上で、15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 15試合は、都道府県リーグ2部以上のフットサルの試合の主審あるいは第2審判として審判したものを計算する。
 - ② サッカー2級審判員
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

フットサル2級審判員に昇級後は、(公財)日本サッカー協会や(一社)関東サッカー協会、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

- 第1次審査；書類審査
 - ① 審判実績確認：REFEREES' DIARY審判記録用紙のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。
※審判委員会ホームページの推薦審査(F2)申込書を使用して提出
- 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2016年 5月5日(木・祝) 野田市陸上競技場
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験
 - 1,000m走 4分40秒以内
 - スピードテスト(10m) 12秒以内
 - アジリティーテスト(30m) 23秒以内
 - ・ 講義『2次審査合否発表後 後日』
合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する
- 第3次審査；2次審査合格者に対して、実技審査を実施
 - ・ 3試合実施する。
 - 3試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。



4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。
推薦審査(F2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES' DIARY審判記録用紙のコピーを添付し、郵送で申込みをしてください。
- ② 受験費用：2,000円
(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)
※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

《2016年度 第1回 フットサル3級審判員昇級認定審査のお知らせ》

2016年度、第1回目の昇級試験を実施いたします。多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格：2016年度の(公社)千葉県サッカー協会サッカー3級審判員、もしくはフットサル4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のうちどちらかを有していること
 - ① フットサル4級審判員として主審、第2審判15試合以上の審判を行っていること。
 - a. 経験対象試合は、前後半を有するフットサルの試合で、1日2試合を限度とする。
 - ② サッカー3級審判員。
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。
(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
フットサル3級審判員に昇級後は、(公社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (公社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

- 第1次審査；書類審査
 - ① 審判実績確認：REFEREES' DIARY審判記録用紙のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。
※審判委員会ホームページの昇級認定審査(F3)申込書を使用して提出
- 第2次審査；第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2016年5月5日(木・祝) 野田市総合体育館／野田市陸上競技場
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 70点以上
 - ・ 体力試験
 - 1,000m 5分30秒以内
 - スピードテスト(10m) 14秒以内
 - アジリティーテスト(30m) 26秒以内
 - ・ 講義(合否発表後)
合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する



4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。
昇級認定審査(F3)申込書と、審判証(現在)の顔写真側のコピー、審判実績15試合分以上のREFEREES' DIARY審判記録用紙のコピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。
- ② 受験費用：2,000円
(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみですので、当日現地での徴収は行いません)
※ 詳細等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

審判員および審判指導者としての言動、情報管理に対する注意喚起

公益社団法人千葉県サッカー協会
審判委員会委員長 山岸 佐知子

日頃より、本県の審判活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。
さて、昨今のインターネット、ソーシャルネットワークサービス等(以下、「SNS等」という。)の発達、普及が進んだことを踏まえて、改めて審判委員会より下記のとおり注意喚起いたします。

記

1. 審判員および審判指導者(以下、「審判関係者」という。)は、試合後に(審判関係者以外の第三者に対して)簡単に審判に関してコメント及びSNS等で表現するべきではありません。また、審判関係者同士の会話であっても周囲に聞きとがめられないよう配慮する必要があります。なぜなら、審判関係者の発するコメントが、相手の受け取り方によっては、意図しない受け止め方をされるような誤解を招くことがあるからです。
具体例として、「あれ(あの判定)、間違えちゃった」「あれはオフサイドではなかったかも」などといった発言を、当該チーム関係者が聴いた場合、審判不信につながり、ましてやSNS等でそのような表現を行ってしまったら、その情報を受信した人によって、簡単にコピー、拡散することが可能となり、当の発言に関して発信者はコントロール出来なくなるばかりか、審判委員会としてもその審判関係者を擁護することは極めて難しくなります。
判定以外でも、人種、肌の色、性別、言語、宗教、または出自など対人に向けての差別的あるいは侮辱的な発言または行為はあってはならない事であり、「差別・暴力の根絶」はサッカーファミリーとして遵守すべき事項であることも付言しておきます。
2. 自分が打診を受けたり、受諾した審判割当の情報についても、安易に他人に公表すべきではありません。審判員としての公正、中立的な立場を揺るがすような不測の事態を引き起こしたり、試合後に、審判員の判定に不満を持った者から審判員を特定されて身辺に危険を及ぼされること等を防止するためです。

これまででも、こうした注意喚起はおこなってまいりましたが、今一度、改めて言動、情報管理に対して審判関係者1人1人の注意を払っていただきますようお願いいたします。

以上

(公財)日本サッカー協会からの重要なお知らせ

★ サッカーにおける脳振盪に対する指針 ★

サッカーの試合中に選手が脳震盪になった時にはできるだけ早い対応が必要で、(公財)日本サッカー協会では2014年11月17日に「サッカーにおける脳振盪に対する指針」が再作成されました。これはJリーグだけでなく、日本でサッカーを行っているすべての人に、指針として使用していただけるものなので、ぜひ一度ご確認ください。

⇒ http://www.jfa.jp/football_family/medical/b08.html

★ オフサイドに関する追加ガイダンスについて ★

国際サッカー評議会(以下IFAB)より、競技規則第11条オフサイドに関する追加ガイダンスが通達されました。今回のオフサイドに関する追加ガイダンスは、2013年に通達されたオフサイドの解釈“相手競技者に干渉する(ボールに向かっている相手競技者にチャレンジする)”が、大陸連盟や加盟協会において統一されていないことを受け、新たな文言を加えることで、そのオフサイドの解釈を整理したものです。

(公財)日本サッカー協会においては、現在、適用しているオフサイドの解釈は、追加ガイダンスで求められている解釈と何ら変わるものではないため、現行の解釈を引き続き適用するものとします。

オフサイドの反則の「相手競技者に干渉する」、また、オフサイドにおける「セーブ」の定義について以下のページで解説し、映像でも説明されていますので、参考にしてください。

⇒ <http://www.jfa.jp/referee/news/00008777/>



広告主さま募集しています

- ・千葉県内約8千名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。

- ・この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局(TEL 043-310-4888)にご連絡をお願いいたします。



編集後記

審判をするようになって今まで外から観ていたサッカーの試合が、中から選手の息遣いや会話、監督やコーチの指示、ベンチの様子などが感じられ、チームの特徴がわかります。監督が選手や審判に文句を言うチーム、選手間で言い争いしているチーム、コーチが大声で指示を出し選手は黙ってサッカーしているチーム。そんな中で、ミスしても「(気持ち)切りかえて!」「ナイスシュート!次は枠行こう!」と周りから声が出るチームは選手が生き生きしていて、そんな試合を担当できると嬉しく思います。(hase)

レフェリーニュース編集員

木川 綾

E-mail : girasole@gol.com

染田 洋

E-mail : spzg2dw9@tea.ocn.ne.jp

唐崎 敦好

E-mail : megusta_futbol@kxf.biglobe.ne.jp

長谷川 鉄哉

E-mail : jef_hasechan@tbz.t-com.ne.jp

公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会

<http://cfa-referee.lolipop.jp/>